

令和3年度
JAIST次世代特別研究員申請書

| | | | |
|---------|-------|-----|--|
| 学生番号 | | 氏 名 | |
| メールアドレス | | | |
| 入学年月 | 年 4 月 | | |

| | |
|------------------------------|--|
| JAIST次世代特別研究員として従事を希望する研究課題名 | |
|------------------------------|--|

※指導教員と相談して記入してください。

申請書の内容について、確認しました。

指導教員署名 _____

申請書作成にあたっては、下記の点に注意の上、作成してください。

- ・10ポイント以上の文字で記入してください。
- ・日本語で記入してください。
- ・様式中の各項目について枠の拡大縮小等の変更、指定されたもの以外の項目を付け加えること、及び記入しない項目の省略等、様式の加工・変更はできません。
- ・所定の様式以外に新たに用紙を加えることはできません。
- ・申請書は両面印刷にて提出してください。
- ・指導教員の署名については、電子メールでの確認など、指導教員が申請書の内容を確認したことを確認できるものに代えることができます。その場合は、電子メールの写し等を添付してください。

上記のルールに従わなかった場合には、書類不備のため、審査にあたり不利益を生じることがあります。

1. **現在までの研究状況** (図表を含めてもよいので、わかりやすく記述してください。様式の改変・追加は不可(以下同様))

- ① これまでの研究の背景、問題点、解決方策、研究目的、研究方法、特色と独創的な点について当該分野の重要文献を挙げて記述してください。
- ② 申請者のこれまでの研究経過及び得られた結果について、問題点を含め①に記載したことと関連づけて説明してください。
なお、これまでの研究結果を論文あるいは学会等で発表している場合には、申請者が担当した部分を明らかにして、それらの内容を記述してください。

(現在までの研究状況の続き)

2. これからの研究計画

(1) 研究の背景

1. で述べた研究状況を踏まえ、これからの研究計画の背景、問題点、解決すべき点、着想に至った経緯等について参考文献を挙げて記入してください。

(2) 研究目的・内容 (図表を含めてもよいので、わかりやすく記述してください。)

- ① 研究目的、研究方法、研究内容について記述してください。
- ② どのような計画で、何を、どこまで明らかにしようとするのか、具体的に記入してください。
- ③ 共同研究の場合には、申請者が担当する部分を明らかにしてください。
- ④ 研究計画の期間中における学外研究機関（外国の研究機関等を含む。）での研究活動（インターンシップを含む。）の予定について記載してください。
- ⑤ この研究の挑戦性・融合性や、研究領域の創成、社会課題の解決、産学・地域連携等に資する点を記載してください。

(3) 研究の特色・独創的な点

次の項目について記載してください。

- ① これまでの先行研究等があれば、それらと比較して、本研究の特色、着眼点、独創的な点
- ② 国内外の関連する研究の中での当該研究の位置づけ、意義
- ③ 本研究が完成したとき予想されるインパクト及び将来の見通し

(4) 年次計画

標準修業年限内における研究の計画について記載してください。元の枠に収まっていれば、年次毎の配分は変更して構いません。

(1年目)

(2年目)

(3年目)

3. **研究業績**（下記の項目について申請者が**中心的な役割を果たしたもののみ**項目に区分して記載してください。その際、通し番号を付すこととし、該当がない項目は「なし」と記載してください。申請者にアンダーラインを付してください。業績が多くて記載しきれない場合には、主要なものを抜粋し、各項目の最後に「他〇報」等と記載してください。）

(1) **学術雑誌等（紀要・論文集等も含む）に発表した論文、著書**（査読の有無を区分して記載してください。査読のある場合、印刷済及び採録決定済のものに限ります。**査読中・投稿中のものは除く**）

① 著者（申請者を含む全員の氏名を、論文と同一の順番で記載してください。）、題名、掲載誌名、発行所、巻号、pp 開始頁－最終頁、発行年をこの順で記入し、著者の所属・職については脚注に記載してください。

② 採録決定済のものについては、それを証明できるものを添付してください。

(2) **学術雑誌等又は商業誌における解説、総説**

(3) **国際会議における発表**（口頭・ポスターの別、査読の有無を区分して記載してください。）

著者（申請者を含む全員の氏名を、論文等と同一の順番で記載してください。）、題名、発表した学会名、論文等の番号、場所、月・年を記載してください。発表者に〇印を付してください。（発表予定のものは除く。ただし、発表申し込みが受理されたものは記載しても構いません。その場合は、それを証明できるものを添付してください。）

(4) **国内学会・シンポジウム等における発表**

(3)と同様に記載してください。発表申し込みが受理されたものを記載する場合は、(3)と同様に証明できるものを添付してください。

(5) **特許等**（申請中、公開中、取得を明記してください。ただし、申請中のもので詳細を記述できない場合は概要のみの記述で構いません。）

(6) **SciVal Score（Scopus 論文の実績－期間 2018-2021）**

Scholarly Output () Field-Weighted Citation Impact () Q1 () Q2 () Q3 () Q4 ()

データ取得日 2021 年 () 月 () 日

(7) **その他**（受賞歴等）

「3. 研究業績」欄の記入例

下記はあくまでも一例であり、体裁は申請書に記載されている注記を踏まえた上で、適宜調整してください。

(1) 学術雑誌等（紀要・論文集等も含む）に発表した論文、著書

（査読有り）

- 1) 先端太郎¹、石川花子²、・・・「(題名)」、『(掲載誌名)』、〇〇出版、〇号、pp57-62、2003
- 2) 能美治郎³、先端太郎¹、・・・「(題名)」、『(掲載誌名)』、〇〇出版、〇号、pp33-39、2009

他 5 報

書ききれない場合で省略する場合は、項目別に省略した数を記載してください。

注：著者の所属・職（論文発表時）

- 1 〇〇大学〇〇研究科大学院生、2 〇〇大学〇〇学部助教、3 〇〇大学〇〇研究科教授、・・・

著者の所属及び職名等を記載してください。

(2) 学術雑誌等又は商業誌における解説，総説

- 1) 先端太郎・・・「(題名)」、『(掲載誌名)』、〇〇出版、〇号、pp57-62、2006

(3) 国際会議における発表

（口頭発表 査読有り）

- 1) 〇 Sentan T, Ishikawa H,・・・「(題名)」、『(学会名)』、BB-11, Los Angeles, USA, (June 2005)
- 他 2 件

パンフレット等に掲載された際に付された番号があれば記載してください。

(4) 国内学会・シンポジウム等における発表

（口頭発表 査読なし）

- 1) 〇 先端太郎、石川花子、・・・「(題名)」、『(学会名)』、No. 200、仙台、2004 年 9 月

(5) 特許

（公開中）

- 1) (特許の番号) 号、「(名称)」、能美治郎、先端太郎、2004 年 4 月

(6) SciVal Score（Scopus 論文の実績一期間 2018-2021）

<https://www.scopus.com/> にアクセスしデータを取得します。

SciVal -> Overview -> Researchers and Groups から“Define a new researcher”を選択し、氏名を英語表記で入力すると Scholarly Output (Scopus-index の発表論文数) や Field-Weighted Citation Impact (分野補正被引用インパクト) 等が表示されます。

Publication type は all (Journal や Conference Proceedings 含む) としてください。

Published -> by journal quartile をクリックし、ジャーナルランク (Q1~Q4) の情報を取得します。上記サイトからアクセスできない場合は空欄のままで結構です。

(7) その他（受賞歴等）

- 1) 先端太郎・・・「(賞の名称)」、2004 年 4 月

既に「発表（印刷）済」のもの、証明書類の添付が必要な「発表（印刷）前」のものに分けて記載してください。

【発表（印刷）前】

(1) 学術雑誌等（紀要・論文集等も含む）に採録決定されたもの

（査読あり）

- 1) 能美治郎¹、先端太郎²、・・・「(題名)」、『(掲載誌名)』、〇〇出版、〇号、pp33-39、2012

(証明書①添付)

注：著者の所属・職

- 1 〇〇大学〇〇学部教授、2 〇〇大学〇〇研究科大学院生、・・・

(4) 国内学会・シンポジウム等における発表の申し込みが受理されたもの

- 1) 〇 先端太郎、石川花子、・・・「(題名)」、『(学会名)』、No. 201、東京、2012 年 7 月

(証明書②添付)

証明書類は電子メール等の写しでも構いません。論文等は添付しないでください。証明書の右上に「証明書①」と記載してください。

4. 将来の展望

本事業は、我が国の科学技術・イノベーションの将来を担う優秀な志ある博士後期課程学生に対して経済的支援を行うものです。

このため、自身が博士後期課程修了後に我が国の科学技術・イノベーションにどのような貢献ができるのかについて、具体的な将来展望を記入してください。